

▽ 狩俣 恵一 教授 KARIMATA, Keiichi



所 属：総合文化学部 日本文化学科
 担当科目：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、卒業論文
 南島言語文化特殊研究Ⅰ・Ⅱ

学歴等のプロフィール

① 【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ① 1982年3月：國學院大學大学院文學研究科日本文學専攻博士課程後期満期退学
- ② 博士(民俗学)
- ③ 奄美沖縄民間文芸学会・日本口承文藝学会・日本民俗芸能学会・アジア民族文化学会・沖縄藝能史研究会・沖縄民俗学会・沖縄文化協会
- ④ 全国竹富島文化協会編集委員長(1966年～)・宮古伝承文化研究センター副所長(2007年～)
竹富町史編集委員(2015年～)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例		
1) 演習Ⅰ・Ⅲ・	4月～8月	2002年度～、Ⅰ(前期)・Ⅱ(後期)は3年次、Ⅲ(前期)・Ⅳ(後期)は4年次、専門科目、2単位、6名～12名、3年次と4年次が一緒のゼミなので、相互の意見交換を中心にしている。地域の祭りや歌碑廻りの研修。
2) 演習Ⅱ・Ⅳ	9月～3月	
3) 卒業論文	4月～3月	2002年度～、4年次、4単位、6名～12名、多良間島八月踊り・伊江島村踊り・竹富島種子取祭・石垣島・久高島等の芸能及び伝統文化の視察・研修。
4) 南島言語文化特殊研究Ⅰ・Ⅱ	4～8月、9～3月	2002年度～、Ⅰ(前期)・Ⅱ(後期)、大学院生、0～2名、修士論文指導(指導学生数10名、修士学位取得者数8名)、組踊役者・琉球舞踊家・歌三線奏者による実演及び解説。
5) 論文審査		2010年度～、修士論文審査数(主査5名、副査8名) 2010年度～博士論文審査数(副査4名)

2. 学生支援活動		オフィスアワーで、履修指導・奨学金活用などの指導、アルバイトの紹介など、学習支援や生活支援、キャリア支援など。
3. 学外での教育活動		國學院大學・沖縄県立芸術大学の公開講座、ロータリークラブ、文化協会等各種団体、長寿大学等での講演。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

<p>主要論文</p> <p>「乞食者詠と八重山のユングトゥ」(『万葉古代学研究所年報』第8号/財団法人奈良県万葉文化振興財団 万葉古代学研究所/2010年)</p> <p>「琉球の創世神話」(『古事記の起源を探る 創世神話』、2013年、三弥井書店)</p> <p>「口承文芸のジャンルと詞形の問題—ユングトゥを中心に—」(『アジア民族文化研究11』、2013年)</p> <p>「組踊の様式と精神性について」(『沖縄芸能史研究会会報』第424号、2014年)</p> <p>主要編著書</p> <p>『八重山諸島竹富島小浜島の昔話』同朋舎出版/1984年</p> <p>『芸能の原風景』瑞木書房/1998年</p> <p>『南島歌謡の研究』瑞木書房/1999年</p> <p>『琉球の伝承文化を歩く2—西表・黒島・波照間の昔話—』三弥井書店/2003年</p>
--

研究分野

琉球文学・琉球芸能・琉球民俗

【Eメール・ホームページ等】

http://skillet.jp/user/densho/

平成 27 年 4 月 30 日現在